

※乳幼児健診は保健カレンダー（保存版）をご覧ください。

歯みがき指導とフッ化物塗布

- 日程／7月29日(水)
- 予約時間／午前 9時50分・10時5分・20分・35分・50分、11時5分
午後 1時5分・20分・35分・50分、2時5分・20分・35分
- 内容／歯の健診相談、歯みがき指導、フッ化物塗布(希望者)(所要時間は約1時間位です)
- 対象／2歳～就学前
- 定員／180名
- 費用／200円(生活保護世帯の方は無料。事前に保健センターへご連絡ください。)
- 持ち物／使用中の歯ブラシ、タオル、コップ、母子健康手帳
- 申込み／7月2日(木)から保健センターへ。

歯のコンクール 出場者募集

- ①「8020 よい歯のコンクール」(対象者：80歳以上で自分の歯が20本以上ある健康な方)
- ②「歯の健康家族コンクール」(対象者：同居する家族のうち3名の方の歯が健康な方)
- ① または②に該当される方は、7月8日(水)までに保健センターへ。
- (※当コンクールで表彰経験のない方が対象となります。)

妊婦健康診査 健診助成について

平成21年2月1日から3月末日までの間で、受診票による健診以外で基本的な妊婦健康診査を受診された妊婦の方には、一定金額の助成金が支給されます。該当する方には、個別通知をしておりますが、まだ申請をされていない方はお早めに保健センターまで、ご連絡ください。

人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課 ☎ 991-1808 ・企画財政課 ☎ 991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集-第14集-」の作品の中から、中学校1年生の作品を紹介します。

兄が教えてくれたこと

私の兄は生まれつき知的障害です。本当は十五才でも、知能は一才という障がいです。ちょっとしたことしかしゃべれない、勉強もできない、大暴れする大きな赤ちゃんのような兄です。

そんな兄の性格に困ることがいくつかあります。一つ目は、兄の音楽好きです。スーパーなどで音楽が聞こえてくると、そこに座ってずっと聞いてしまいます。立たせようとして、ひっぱってもなかなか立たないことも何度かあります。そして二つ目は、出かけたときやさしそうなおじさんがいると、知らない人でも手をつないでしまうことです。迷わくをかけることが多く、たいへんです。三つ目は、人が多い所でぐずってしまうことです。くつをなげたり、暴れたりしてとてもたいへんです。ぐずっているのを止めるには、おんぶをしなければなりません。こんな大きな体をお母さんはおんぶしたので腰を痛めてしまうこともありました。兄にはとてもラッキーなことですが、お母さんと私には、恥ずかしいし、たいへんなことでした。こんな兄の近くにいる、見ていた人は、いやそうな目で兄を見ていました。「あの人に近づいたら危ない、変な人、なんであんなに大きい体しているのにおんぶしているのだろう?」と、どこかでは思っている人も絶対にいると思います。でも兄は障がいで私たち家族には、どうしようもない病気です。もし、自分が兄のような病気で周りの人に何か言われたら私はと

埼玉県母と子のよい歯のコンクールが行われました(6月11日)

コンクールに参加されたのは、楠 恵子さん・琴音ちゃん親子です。

昨年度3歳児歯科健診を受けたお子さんの中で、母子ともに、むし歯のない方を町から推薦し、参加するコンクールです。これから3歳児健診を受けるお子さんは、親子でむし歯にならないよう心がけ、コンクールに参加できるよう頑張りたいです。



食生活改善推進員協議会コーナー

ヘルスサポーター養成講座を開催します。ヘルスサポーターとは「自分のからだを今一度見直し、自分自身の健康をしっかり定着させる人」をいいます。

- 日時／7月25日(土) 午前9時30分～午後2時
- 場所／中央公民館
- 費用／300円(調理実習費)
- 持ち物／エプロン、三角巾、計算機、筆記用具
- 対象者／町内在住、在勤の方 先着30名
- 申込み／7月21日(火)までに保健センターへ(電話可)

巡回不妊相談(講演会・個別相談会)

- 日時／7月18日(土)午前10時30分～午後4時30分
- 場所／草加市文化会館
- 申込み・問合せ／県健康づくり支援課 ☎ 048-830-3561

てもいやな気持ちです。みんなにきらわれているとしたら、ショックで、だれとも会いたくなくなってしまいます。兄のことをいやだとか言っている人に、兄のような障がいになったらどんな気持ちになるか考えてほしいと思います。

「障がい」と呼ばれるものもたくさんあります。兄はその中のひとつを持って生まれてきました。兄は知的障がいの中でも発達がとてもおそい最重度の障がいです。同じ、障がいでも人によってちがいます。私たちも、人によって好きなものや、性格がちがいます。それを「個性」と呼んでいます。「個性」と「障がい」と、どちらがうのでしょうか。私にはわかりません。だから障がい者と私たちは同じ人として障がいたということを理解し、仲よくしていかなければならない、私はそう思います。最近では、いじめが原因で命を捨ててしまう人が増えています。いじめられたから、障がいたからといって命をむだにしたいとは思いません。

命とは、生きていくもとなる力であり、生きていく間ということ。命があるから体が動く、考えることができる、成長できる。人にとって一番大切なものだから、命は絶対に捨てるはいけないものだと思います。だから私は、いろいろな人や障がい者に仲よく接していこうと思います。みんなに、やさしい心強いやりの心があれば、個性や障がいによって差別されたり、いじめられたりすることがない世の中になると思うからです。こういう気持ちを私は、兄から教わりました。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。

健康展でたばこの標語を募集しました。「タバコ吸い 孫に嫌われ 苦笑い」須貝繁子さん